

令和3年度 第1回吉田町総合計画等審議会（議事録）

1. 開催日時

令和3年10月8日（金） 14:00～16:13

2. 開催場所

吉田町役場2階 町民ホール

3. 出席者

氏 名	役 職 等	備 考
塚本 成男	吉田町教育委員会委員（教育長職代理者）	
大石千恵子	吉田町農業委員会委員	
八木 達良	ハイナン農業協同組合専務理事	
増田源七郎	南駿河湾漁業協同組合専務理事・吉田支所担当理事	
藁科 昌利	静岡うなぎ漁業協同組合長	
田島 逸雄	吉田町社会福祉協議会長	
増田 竜彦	住吉区自治会長	
久保田哲男	川尻区自治会長（自治会連合会長）	副会長
竹内 昭雄	片岡区自治会長	
中村 道雄	北区自治会長	
岩根 政次	吉田町さわやかクラブ連合会	
田中 秀子	吉田町女性団体連絡協議会長	
田中 啓	静岡文化芸術大学教授	会長
内藤 義晴	㈱静岡銀行吉田支店長	
原田 佳典	島田掛川信用金庫地方創生室長	
飯田千恵子	㈱FM島田放送番組審議会委員	
鈴木佐知子	吉田町男女共同参画プラン検討委員会委員 （特別養護老人ホーム住吉杉の子園施設長）	
石上 彩菜	保育園保護者（さゆり保育園） 吉田町男女共同参画プラン検討委員会委員	
小林 和敏	島田公共職業安定所長	
鈴木 史朗	静岡県中部地域局長	オブザーバー

（敬称略）

※ 増田学委員が欠席

4. 町長あいさつ

- ・本日は、第5次吉田町総合計画前期基本計画及び第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理について審議していただく。
- ・昨年度から始まっている第5次吉田町総合計画前期基本計画及び第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、数字だけは大きな変化はないかもしれないが、実際の社会生活の様々な動きについては、コロナ禍の状況が影響を及ぼしている部分が多いと感じている。
- ・皆様も日々感じていると思いますが、モチベーションが非常に下がっていく。自分でモチベーションを上げるために努力しなければならない時期だと思っている。
- ・モチベーションが下がっている社会生活の動きを感じとっていただき、実感されている意見をぜひお聞かせください。

5. 委嘱状の交付

事務局から委嘱状の交付について説明した。なお、委員の委嘱期間については、前回までの委嘱期間が令和3年8月17日までだったので、今回の委嘱期間については、令和3年8月18日から令和5年8月17日までの2年間とさせていただきたい。

6. 委員自己紹介

事務局からの自己紹介の後、委員名簿の1番から順に自己紹介を行った。

7. 会長、副会長選出について

吉田町総合計画等審議会条例第6条の規定に基づき、会長、副会長の選出が行われた。会長については、竹内昭雄委員から、静岡文化芸術大学の田中啓委員が推薦され、本審議会で承認された。また、副会長については、田島逸雄委員から、川尻区自治会長（自治会連合会長）の久保田哲男委員が推薦され、本審議会で承認された。

8. 会長あいさつ

【静岡文化芸術大学 田中啓委員】

- ・本審議会は、町の行政に対して、住民の方々が意見を述べていただく大変重要な機会だと思いますので、活発な意見を述べていただきたい。
- ・先ほど町長からもお話がありましたが、計画策定後に世の中がコロナの影響で大きく変わっている。計画の数字や文面を見るだけでなく、社会の変化を踏まえながら施策を進行していく必要があると思う。
- ・みなさんそれぞれの分野の状況をご存じだと思いますので、そういったことを踏まえたご意見をいただきたい。

9. 議事

9.1. 第5次吉田町総合計画後期基本計画進捗管理報告書について

事務局から「資料N o. 1 第5次吉田町総合計画後期基本計画進捗管理報告書」について説明した。

● 【田中会長】

- ・この議事については、第5次吉田町総合計画後期基本計画の進捗管理報告書について、委員の皆様にご意見をいただくものです。
- ・新しい委員の方はわかりづらい部分もあると思いますが、総合計画というものは、町の行政として今後4年間に取り組む内容が記載されている。分野ごとに具体的な数値が入っており、現時点での実績値が資料に記載されている。また、令和5年度の目標値に対する評価が、A、B、Cで評価されている。
- ・役場で自己評価した内容の妥当性について、皆様からご意見をいただきたい。また、純粋に資料を見て、実績値に対する理由の確認や皆様が知っている情報があれば提供していただきたい。

● 【〇〇委員】

- ・P 3の住吉地区治水対策計画の策定率について、実績値が0%で評価がCになっている。令和2年度の予算要求書では、住吉地区治水対策計画の策定に予算をつけており、住吉区の住民としては早期の実施を願っているが、なぜ何もできていないのか伺いたい。

→ 【事務局】

- ・県の2級河川のため、島田土木事務所と合同で策定しているところである。昨年度はコロナの影響で事業を令和2年度から令和3年度に繰越している。事業の目標値は令和5年度であり、事業は少しずつ進捗しているが、単年度としては目標値を達成していないという評価になる。

→ 【田中会長】

- ・計画が遅れているということだが、令和5年度には目標値が達成できるという進捗状況でよいのか。

→ 【事務局】

- ・目標値を達成できるように計画的に事業を進めている。

→ 【〇〇委員】

- ・令和2年度に実施できなかった事業に対し、令和3年度に予算計上しているということか。

→ 【事務局】

- ・令和2年度に実施できなかった予算を令和3年度へ繰越しているので、令和3年度に新たに予算が計上されている訳ではない。

→ 【田中会長】

- ・予算を繰越しているので、無駄遣いをしている訳ではない。

● 【〇〇委員】

- ・ P 1 3 の「全国学力・学習状況調査の県平均正答率との差」、「朝食を毎日食べる児童・生徒の割合」、P 1 6 の「1 人 1 日当たりの可燃ごみの排出量」、「ごみのリサイクル率」、「公共施設における温室効果ガス年間排出量」について、実績値が未把握になっているが、背景を知りたい。

→ 【事務局】

- ・ 目標値を設定する際に、毎年把握できるものを目標値として設定した事業については毎年評価ができるが、毎年把握できないものを目標値として設定した事業については未把握となっている。
- ・ 2 年に 1 回や 3 年に 1 回の評価となっている事業で、令和 2 年度に実績値を把握できない事業については、未把握となっている。

→ 【田中会長】

- ・ 令和 2 年度の実績がわからない場合は、直近のデータの掲載や定性的評価の説明を記載することが総合計画の評価としてはいいと思う。

● 【〇〇委員】

- ・ P 3 の「吉田町地域防災指導員養成講座及びジュニア防災士養成講座受講者数」について、吉田町地域防災指導員養成講座は地域の希望者による講座だが、ジュニア防災士養成講座は学校教育の一環として取り組んでいるため、目標を一緒にするのではなく、別々に目標を立てた方がよかったのではないかな。

→ 【事務局】

- ・ お互いの事業は、防災対策としての方向性は一緒だが、本来目的が違うものである。評価は A になっているが、達成した後の活用方法が大切であるため、今後指標の見直しも検討していく。

→ 【田中会長】

- ・ 策定時に見落としていた部分もあるので、課題として認識し、次期策定時には整理が必要である。

● 【〇〇委員】

- ・ P 8 の観光について、吉田町に人が集い、賑わいのある町になってほしい。今後「ウィズコロナ」や「アフターコロナ」の環境の中で、町がどのような施策を展開していくのか、また、企業として協力できることはあるのかを知りたい。
- ・ P 8 の新産業について、様々なサービスや商業の分野がある中で、町の方向性や想定している内容があれば知りたい。

→ 【事務局】

- ・ 1 点目の観光については、コロナの影響により打撃を受けており、内部評価においても目標値の達成について協議を行っている。町としては、シーガーデンシティ構想を掲げ、沿岸部の防潮堤の整備による安全な町土の形成と、沿岸部に賑わいの場を作り、人の流れを沿岸部に戻すことを進めている。現在の進捗状況としては、沿岸部の民間活用に向けてサウンディング調査を実施している。シティーセールスを実施しながら、観光交流客数の増加を目指していきたい。

- ・ 2点目の新産業については、関係機関のご協力を得ながら実施している創業支援ネットワークが、少しずつ機能している状況である。この創業支援ネットワークが充実することで、目標値に近づいていくと思われる。今後、創業支援ネットワークの強化と町の補助制度の強化を図っていきたい。

● 【〇〇委員】

- ・ P 8 の“ふじのくに”フロンティアを拓く取組に係る物資供給拠点確保事業地内への商業施設誘致件数について、町が実施している取組内容を伺いたい。

→ 【事務局】

- ・ 具体的な事業内容は、防災公園を中心とした地域の賑わい創出のために、商業施設の誘致を図り、災害時においては、店舗の駐車場を荷捌き所としての拠点として、また商品を災害物資として町に提供していただく事業となる。現在、杏林堂東側用地については、関係機関と協議しているところである。町としては、防災の拠点として、計画を成し遂げたいと思う。

→ 【田中会長】

- ・ この事業に対する評価について、現状値が4件で目標値が5件のため、実績値が4件の場合はC評価になるが、目標値を達成すると一気にA評価になる。

● 【〇〇委員】

- ・ P 1 2 のホームページアクセス件数について、アクセス数が伸びないという企業等も多い中、アクセス数が目標値を達成していることは素晴らしいと思う反面、コロナの情報を知りたいということでアクセス数が多いのか、観光としてのアクセス数が多いのかを把握しているか。本来、吉田町に興味を持ってホームページにアクセスしていただくことが望ましいと思うが、町はどのように分析しているか。

→ 【事務局】

- ・ ホームページのトップページにコロナ情報が掲載されているため、コロナの情報に関するアクセス数が多い可能性もある。今年度からLINEによる情報発信を実施しており、ホームページと連動した情報発信を行っている。今後、様々な方がホームページにアクセスしていただけるよう工夫をしていきたい。

→ 【田中会長】

- ・ 情報発信は多面的である必要があるため、いろいろな方法を試してほしい。

● 【〇〇委員】

- ・ 総合計画は長い計画なので、計画途中で発生する世の中の変化により必要となる施策への評価はどうしているのか。また、未把握となっている事業への評価はどうしていくのか。

→ 【事務局】

- ・ 実際には動いているのに評価できていない部分はあると認識している。実績値の評価だけでなく、実施した内容をわかりやすく記載していく必要があると思う。次年度以降はわかりやすく記載するように検討していきたい。

→【〇〇委員】

- ・ホームページは見にくいと思っているので、アクセス数のA評価で終わりでなく、改善をしてほしい。また、次年度の評価については、わかりやすく記載するようにお願いしたい。

●【〇〇委員】

- ・資料を見ていくと、現状値の年度がバラバラなのが気になる。後期基本計画の期間は令和2年度から令和5年度なので、現状値や実績値は揃えてほしい。
- ・浜田土地区画整理組合についての町の考え方を知りたい。

→【事務局】

- ・現状値については、設定した時点で把握できている数値になっているため、数値を把握している年度に違いが生じるが、どの事業においても、令和5年度の目標値に向かって取り組んでいる。
- ・浜田土地区画整理組合については、従来、住居を目的とした用途区分であったが、東名川尻幹線や榛南幹線の開通により、商業地への用途変更等を行い、賑わいを持たせられるように検討している。また、川尻工区防潮堤の完成が近づいていることに伴い、住居の建設も増えている。今後も引き続き、浜田土地区画整理組合と連携しながら、事業を実施していきたい。

9.2. 第2期吉田町まち・ひと・しごと総合戦略評価結果報告書について

事務局から「資料No. 2 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書」、「資料No. 3 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略令和2年度実績一覧表」を説明した。

●【田中会長】

- ・この議事については、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書について、委員の皆様にご意見をいただくものです。
- ・総合戦略は、町が人口減少に対応するために取り組むことをまとめた計画になる。総合計画と重複する部分はあるが、特に人口減少に対応するということで、雇用、観光、子育てといった事業が多く入っている。
- ・KPIは、目標値だと考えていただければよい。
- ・役場で自己評価した内容の妥当性について、皆様からご意見をいただきたい。また、純粋に資料を見て、実績値に対する理由の確認や皆様が知っている情報があれば提供していただきたい。

●【〇〇委員】

- ・人口減少に対応するために様々な支援制度を展開する中で、住宅取得に関する支援制度は充実しているように感じるが、創業支援制度や就労支援制度が充実していないように感じる。今後の人口減少対策として検討してほしい。

→【事務局】

- ・人が安心して住むためには、まずは安全な町土を形成することが最重要と考えている。その土台の上に子育て支援、教育、賑わい等を展開していく。住宅支援については、転入に捉われずに、町内転居者へも支援を行い、転出者を減らすように工夫している。金額は少ないが、町と

しては転出しないように施策を展開している。子育て支援については、他市町に負けない支援を実施していると自負している。例えば、放課後児童クラブへの条件緩和を行い、受け皿を広くしている。

● 【〇〇委員】

- ・ P 1 5 の介護老人施設の入所待機者数について、待機者数 0 を目指しているが、地域密着型の施設において、介護人材不足により開設していない部分があるため、待機者が出てしまう。人材が確保できれば、待機者数が 0 になる可能性はある。全国的に外国人の技能実習生を受け入れている施設もあるため、人材確保に向けて、町として施策を展開してほしい。

→ 【事務局】

- ・ 人材確保については、町独自で実施していくことは難しいと考える。家庭との連携や広域的な視点から対応を検討していきたい。県や福祉系の大学・高校とも連携しながら対応していきたい。

● 【〇〇委員】

- ・ 吉田町はハード面については進んでいるが、人が足りていないため、良質なサービスを提供できていないと思う。良質なサービスを提供できる市町に賑わいが生まれると思う。大企業を誘致するだけでなく、地元の人を育てるという仕組み作りについて、どう考えるか。

→ 【事務局】

- ・ 人材育成は非常に大切だと思っている。大企業の誘致だけでなく、個人の起業についても力を入れている。まちづくり公社と連携して、創業支援を充実させていきたい。また、地域で活躍されている方と連携し、地域の人材育成の仕組みを作っていきたい。

→ 【〇〇委員】

- ・ 吉田高校がなくなり、特別支援学校になったことにより、吉田の子供は町外に進学している。町内若しくは牧之原市に、研究施設等を誘致し、質の高い教育ができる環境を整えてはどうか。吉田町だけでなく牧之原市と連携してやることも必要である。長期的な視野で計画してほしい。

→ 【事務局】

- ・ 内部では議論している部分もあるが、町だけでなく広域連携を図る必要があると思っている。現在、5 市 2 町中部連携中枢都市圏事業において、バス事業や観光事業について連携を進めているが、今後、基盤を整備しながら教育等の施策を展開していきたいと思っている。

→ 【田中会長】

- ・ ゼロからスタートすることは難しいので、何かのきっかけが大切になると思う。

● 【〇〇委員】

- ・ 島田地域については、県や全国と比較し、有効求人倍率が低いのが現状である。コロナの影響で仕事探しが難しくなっていることが考えられるが、福祉については、2 倍以上の有効求人倍率があり、アンバランスな状態となっている。
- ・ P 8 の転入超過人数について、実績値がマイナスになっているが、分析はしているか。

→【事務局】

- ・転入超過人数については、これまではプラスを維持していたが、令和2年度にはマイナスになってしまった。分析していくと、沿岸域からの転出が顕著に出ているので、津波等の影響があるのではないかと思う。内部でも具体的な分析が必要と認識しているため、実態把握と分析を進めたい。

● 【〇〇委員】

- ・就労前の保育園入所については、他市町では難しいと聞いているので、吉田町は優れていると思う。家を建てる時に、津波対策は気になるため、早急に対策を行ってほしい。

→【田中会長】

- ・事務局から、町の子育て支援には自信があると発言があったが、町の子育て支援で素晴らしいと実感している点は。

→【〇〇委員】

- ・実感しているというより、吉田町の子育て支援が当たり前になっている部分がある。地元で高校がないため、高校卒業後に吉田町に戻ってくる可能性が低くなると思う。

● 【〇〇委員】

- ・介護現場では、資格がないと事業展開ができないが、資格を有している職員が少ない。資格を有している人材への条件緩和等をしないと、今後の事業展開は難しいため、町にも検討してほしい。

● 【〇〇委員】

- ・雨や台風等で河川からゴミが流れ込んでくる事案が多い。現在、ボランティアで対応しているが、2トントラックで数十台必要である。また、漁港に遊びに来てくれるのは嬉しいが、ゴミ処理が問題になっているので、マナーを徹底してほしい。

● 【〇〇委員】

- ・コロナの影響を踏まえて、目標値を見直すことは検討していないのか。

→【事務局】

- ・社会情勢の変化もあることから、見直しも検討している。今年度が終了すると、半分の2年が過ぎるため、中間見直しも検討している。

→【田中会長】

- ・目標値は安易に変更するものではないが、状況に応じて変更は検討した方がよい。

● 【オブザーバー】

- ・先ほど、広域で連携して研究機関などを誘致したらどうかという話がでた。コロナを契機として、働き方もだいぶ変わり、旅行と仕事を兼ねたようなワーケーションや、サテライトオフィスの地方誘致という動きがあり、中部地域でもそのような取組を進めている。いきなり大規模な誘致は難しいかもしれないが、この地域でワーケーションやサテライトオフィスを開設する

企業を応援することによって、その方たちが、この地域に魅力を感じて、支店の開設や本社の移転につながっていくことが期待できる。

- ・評価表を見ると、ABC評価のみ記載されており、評価の背景である原因や事情が分からず、記載の仕方が不親切だと感じた。令和2年度は、コロナ対策に、人員や予算も投入しなければならず、施策の優先順位が変わってしまった状況。コロナなどに原因があれば、その旨を記載してくれると分かりやすい。

→【田中会長】

- ・町は意見として参考にしてほしい。

● 【田中会長】

- ・今後、次の審議会のスケジュールがあれば知りたい。

→【事務局】

- ・今後のスケジュールは具体的に決まっていないが、内容等の見直しを行う場合は会議を開催すると思う。

以上